

国内3例目にして最古の“一日造立仏” & 毘沙門天立像 乙訓寺(京都府長岡京市)重要文化財特別公開

新たに重要文化財に指定された“最古の一日造立仏” & 平安の美を今に伝える“憂愁の毘沙門天”

2023 年は、弘法大師空海の生誕 1250 年にあたります。空海と最澄が初めて出会った京都の古刹 乙訓寺(おとくにでら/京都府長岡京市今里3丁目14-7)で、令和5年6月、新たに重要文化財の指定を受けた「木造十一面観音立像」と、同じく重要文化財の「木造毘沙門天立像」の2体同時特別公開を令和5年11月11日(土)～12月3日(日)に開催されます。

この十一面観音立像は、仏像内に納められた200点以上の文書から、「一日造立仏」として、文永5年(1268)に製作されたことがわかりました。一日造立仏として3例目、最古の例であることが明らかになりました。

なお、この特別公開は、弘法大師空海生誕1250年、同寺で明治34(1901)年に毘沙門天立像が重要文化財(旧国宝)の指定を受けて以来約120年ぶりに十一面観音立像が重要文化財に指定されたことを記念して開催します。



仏像内に納められた200点以上の古文書から明らかに！ わずか一日で彫り上げられた最古の“一日造立仏”

- ▶十一面観音立像は、経年劣化により解体修理を行った際に、仏像内から200点以上に及ぶ大量の文書が発見されました。文書は造立当初のもので、文永5年(1268)に「一日造立仏」として製作されたことがわかりました。
- ▶「一日造立仏」とは、雨乞いや疫病消除を祈願して、一日のうちに製作し、造立供養まで行うもので、鎌倉時代に興福寺で盛んに行われました。一日造立仏として製作されたことが明らかな仏像としては3体目で、その中でも最古の例であることが明らかになりました。
- ▶鎌倉時代末期に製作された優品として高く評価され、右手に錫杖、左手に華瓶を持つ長谷寺式十一面観音像。全体的に簡略な彫り口で、時間の制約から、部材ごとに分業で製作し、最後に組み上げられたとみられています。顔は非常に細かい刀目で入念に仕上げているのに対し、他の箇所は粗めの刀目で仕上げられています。
- ▶この十一面観音立像は、護持院 隆光により秋篠寺(奈良市)から移されたことがわかっています。護持院 隆光とは、江戸幕府の5代将軍綱吉とその母 桂昌院から厚い信任を得た僧で、弘法大師空海が別当まで務めた乙訓寺が、臨済宗南禅寺派の末寺になっていたことを惜しみ、真言宗寺院として再興しました。



解体修理の際に像内から発見された文書

平安の美を伝える幽愁の毘沙門天
顔料・截金・多彩な模様など技術の高さと類を見ない豪華さ

▶毘沙門天立像は、平安時代末(12世紀)の製作で、製作当初の彩色や截金模様がよく残り、模様の種類の多さや顔料の質の高さ、模様を施す技術の高さなどが評価されています。金銀をふんだんに使った截金は他に類を見ないほどの豪華さ。

▶毘沙門天は、北方の守護神で、邪鬼を踏みつけ、激しい怒りの表情を浮かべることが一般的ですが、この像は眉をひそめやや左に顔を向け、物憂げな表情を浮かべていることから、「幽愁の毘沙門天」の異名を持ちます。

▶経年劣化による傷みや剥落があったため、令和4年に修復を行い、その後、初の公開となります。



【特別公開】

- ▶期 間:令和5年11月11日(土)～12月3日(日)
9時30分～16時
- ▶場 所:乙訓寺 本堂・毘沙門堂
- ▶拝観料:1,000円(解説パンフレット付き) ☒▶
- 主 催:乙訓寺 ▶共 催:長岡京市観光協会 ▶
- 後 援:長岡京市教育委員会

【講演会】

- 新指定「乙訓寺木造十一面観音立像」について
- ▶講師:文化庁文化財第一課 文化財調査官
井上大樹 氏
- ▶日時:令和5年11月18日(土) 13時～
- ▶場所:乙訓寺客殿
- ▶定員:50名(往復はがきによる事前申込制)
- *拝観料要

大慈山 乙訓寺 推古天皇の勅願、聖徳太子の創建と伝わる古刹。桓武天皇が長岡京へ遷都した翌年、藤原種継暗殺事件に関連して弟の早良親王が幽閉された。空海が別当を務め、最澄と初めて出会った。江戸時代に護持院隆光が、5代将軍徳川綱吉やその生母桂昌院の援助を受けて再興した。牡丹の名所。

〒617-0814 京都府長岡京市今里3-14-7 ☎075-951-5759

■電車でのアクセス:JR 京都線「長岡京駅」・阪急京都線「長岡天神駅」から阪急バス「薬師堂」下車、徒歩約5分

■車でのアクセス:京都縦貫自動車道「長岡京IC」から約7分 *紅葉の名所光明寺から徒歩約15分・長岡天満宮から徒歩約20分

【関連イベント】 京都西山・長岡京もみじめぐり + 京都西山・長岡天満宮花灯路

同時期に長岡京市では、京都を代表する紅葉寺の西山浄土宗総本山「光明寺」や、桂離宮を造営した八条宮智忠親王が別荘地として整備した「長岡天満宮」、「花手水」発祥の寺として SNS で人気の「柳谷観音楊谷寺」で「京都西山・長岡京もみじめぐり」が開催されています。特別公開とあわせて秋の京都の紅葉をお楽しみください。



光明寺

紅葉の特別入山

11.11(土)―12.3(日)

9:00～16:00(受付終了)

一般1,000円・中高生500円

JR長岡京駅・阪急長岡天神駅から阪急バス「旭が丘ホーム前」下車、徒歩2分 ☎なし

☎電話:075-955-0002

柳谷観音楊谷寺

もみじウィーク

11.11(土)―12.3(日)

9:00～16:30(受付終了)

ウィーク期間中700円

(上書院拝観別途800円)

JR長岡京駅・阪急長岡天神駅からタクシーで約15分

☎約150台(一部有料)

☎075-956-0017

京都西山・長岡天満宮花灯路

紅葉庭園「錦景苑」ライトアップ

11.18(土)―12.3(日)*無料

点灯時間16:30～20:00

徒歩でJR長岡京駅から約20分・阪急長岡天神駅から約10分

⑥60台(有料)

☎075-951-1025

ガラシャ祭マスコットキャラクター お玉ちゃん



【報道関係の方からのお問い合わせ先】

京都府 長岡京市 商工観光課 担当:上田 TEL :075-955-9515(直通)

MAIL :syokoukankou@city.nagaokakyo.lg.jp